

# 春の火災予防運動

おうち時間  
家族で点検  
火の始末

四街道市消防本部発足50周年記念第16回防火ポスター展

四街道市消防本部

四街道市消防長賞

四街道市立西中学校2年 加村 真柎さんの作品

## 鳴りますか？ 住宅用火災警報器

火災による死者の約7割は住宅火災によるものです！  
大切な命を守るために、寝室などには住宅用火災警報器の設置義務があります。定期的な点検と10年に一度の交換で、いざという時に備えましょう！

### 住宅用火災警報器のお手入れの3つのポイント

- ① 乾電池タイプは交換を忘れずに  
定期的な作動点検のときに早めの交換をおすすめします。電池が切れそうになったら音やランプで交換時期を知らせてくれます。
- ② おおむね10年を目安に機器交換をしましょう  
機器交換は、機器に交換時期を明記したシールが貼ってあるか、音などで交換時期を知らせてくれます。
- ③ 定期的に作動するか点検しましょう  
住宅用火災警報器が鳴るかどうかが、定期的に点検してみましょう。点検方法は、本体の引きひもを引くものや、ボタンを押して点検できるものなど機種によって異なります。

※ 聴覚等に障害がある方には、光が点滅するタイプや、枕型や腕時計型で振動により知らせるタイプのものがありますので、販売店にご相談ください。

## 住宅用火災警報器の設置状況調査にご協力ください

市消防本部では、住宅用火災警報器の設置状況を把握し、より効果的な普及啓発・維持管理広報を行うために設置状況調査を行います。

### 調査期間

3月 1日（火）～7日（月）（春の火災予防運動実施期間）

### 調査対象

市内の100世帯を無作為抽出します

### 調査方法

消防職員が直接訪問し、聞き取り調査します  
（訪問の際には消防手帳を提示します）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により延期または中止する可能性があります。

※消防職員が住宅用火災警報器や消火器を販売することはありません。



## 地震による電気火災対策を

東日本大震災における火災原因の過半数が電気火災でした。地震による電気機器からの出火や、停電の復旧時に発生する火災を防ぐには、感震ブレーカーが効果的です。感震ブレーカーは、揺れを感知すると自動的にブレーカーやコンセントなどの電気を自動的に止める器具です。さまざまな種類があり、それぞれの特徴を踏まえて適切に設置しましょう。

### ●分電盤タイプ・・・約2～8万円程度

内蔵型、後付型があり、センサーが揺れを感知してブレーカーを切って電気を遮断します

### ●コンセントタイプ・・・約5千円～2万円程度

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します

### ●簡易タイプ・・・約2～4千円程度（ホームセンター等で購入できます）

ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断します

